

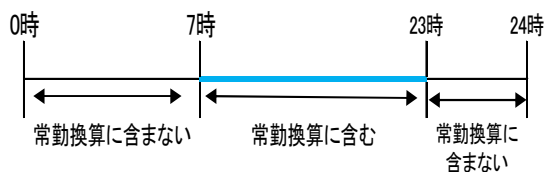
< 共同生活援助 >

指定基準による人員配置と夜間における人員配置について

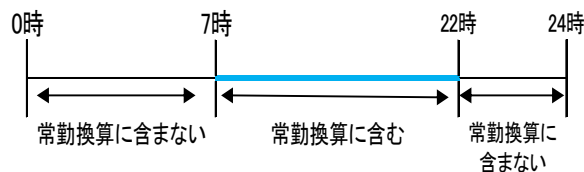
1 指定基準による人員配置（本体報酬で評価）

世話人及び生活支援員については、指定共同生活援助事業所ごとに、利用者の生活サイクル（起床から就寝まで）に応じて1日の活動終了時刻から開始時刻までを基本として、夜間時間帯を設定するものとし、当該夜間支援時間帯以外の指定共同生活援助の提供に必要な員数を確保する必要があります。

例1: 夜間支援時間帯が午後11時から翌日の午前7時である場合



例2: 夜間支援時間帯が午後10時から翌日の午前7時である場合



2 夜間における人員配置（加算で評価）

夜間における介護や緊急時の対応のため、人員基準により配置された世話人・生活支援員とは別に夜間時間帯（午後10時から翌日の午前5時までの間は最低限含む。）に職員配置（夜勤職員）を行う場合は、夜間支援等体制加算Ⅰ又はⅡを算定することができます。

◆例1では夜間支援等体制加算を算定することができません。

◆例2では夜間支援等体制加算を算定することができます。

3 1 指定基準による人員配置と2 夜間における人員配置のまとめ

指定基準上共同生活援助の生活支援員及び世話人については事業所ごとに設定した「夜間および深夜の時間帯」以外の時間帯において必要人員を確保する必要があります。

夜間支援等体制加算では、夜間及び深夜の時間帯として午後10時～翌日の午前5時の時間帯は最低含むこととなっています。夜間の支援については夜間支援体制加算で評価されることから、指定基準上の常勤換算には夜間支援従事者は含むことはできません。

⇒ 午後10時～翌日の午前5時まで（夜間及び深夜の時間帯＝夜間支援等体制加算Ⅰ・Ⅱの加算要件の支援時間）の勤務時間は常勤換算に含めることはできません。

	支援時間の人員配置基準	
	午後10時～午前5時以外	午後10時～午前5時
常勤換算	含められる	含められない
夜間支援体制加算		算定要件

介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書 確認手順

1

ステップ1

介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書の届出様式「別紙2-2」において、夜間支援の時間（午後10時～翌日の午前5時）を直接処遇に含めている

YES

夜間支援に従事している時間（午後10時～翌日の午前5時）は常勤換算に含めることはできません。
夜間支援に従事している時間については、【直接処遇職員 合計】欄の下に「職種」を「夜間支援従事者」として記入してください。⇒ステップ2へ（資料1参照）

NO

ステップ4へ

2

ステップ2

ステップ1より、「別紙2-2」の世話人又は生活支援員の各々の「常勤換算後の人数」が変わる

YES

別紙3-5の「常勤換算後の世話人の人数」及び「常勤換算後の生活支援員の人数」を修正してください。
⇒ステップ3へ（資料2参照）

NO

修正した「別紙2-2」を障害計画課事業者指定担当宛てに提出してください。

3

ステップ3

ステップ2より、「別紙3-5」の「サービス費の区分」が変わる

YES

別紙1（その3）の「事業所全体の状況」欄の「世話人等配置基準」を修正してください。修正後は、「別紙2-2」、「別紙3-5」及び「別紙1（その3）」を提出してください。⇒資料3参照
※「サービス費の区分」が変わる場合は事業者指定担当宛てに連絡をお願いします。

NO

修正した「別紙2-2」及び「別紙3-5」を障害計画課事業者指定担当宛てに提出してください。

4

ステップ4

【直接処遇職員 合計】欄の下に夜間支援を行う方の「職種」を「夜間支援従事者」として記入し「別紙2-2」を障害計画課事業者指定担当宛てに提出してください。